

2025年3月下旬配本

ISBN978-4-9910062-6-5 C0070

B5判変型並製128ページ 本体3200円

シャドーイング：影を追う旅

著者：原田裕規

執筆：塚本麻莉 木元眞琴 高嶋慈 栖来ひかり

再録：宮本常一「海ゆかば」

撮影：松見拓也 原田裕規 増田千恵

装幀：重実生哉

山口県周防大島町の日本ハワイ移民資料館で開催された「原田裕規 個展 やっぱり世の中で一ばんえらいのが人間のようでございます」(2023年)および、映像作品「シャドーイング」シリーズ(2022年～)にまつわるモノグラフ

No Image

257×178×10mm 128ページ 並製

周防大島、ハワイ、台湾——かつて海をわたった人々と デジタルヒューマンが交差するとき、時空を超える旅が始まる

●映像作品「シャドーイング」シリーズ

画面の人物はハワイ在住の日系アメリカ人をモデルに制作したCGによる「デジタルヒューマン」で、その表情はフェイストラッキング技術によって作者の原田と連動している。

映像に付された英語字幕の多くは「ピジン英語」と呼ばれるもの。「ピジン」とは、2つの異なる言語が接触した結果に生まれた混成語を指す。本作におけるピジン英語は、19世紀後半から20世紀初頭にかけてハワイに渡った移民やその子孫が発展させたもので、移民の母国に由来する単語や文法が混合して

いる。日本語字幕も、山陽地方の方言が混ざり、訛りを帯びた口調はピジン英語の字幕と連動する。

さらに、聞こえてくる「声」は2種類あり、一方はハワイの日系アメリカ人、もう一方が原田自身の声。本作では、日系アメリカ人が読み上げる台本を原田が「シャドーイング(復唱)」して追いかけて、移民たちの足跡を民俗学者・宮本常一の視点を交えながら、現代を生きるアーティストが新たな物語として描き出す。



原田裕規 (はらだ・ゆうき) アーティスト

<https://www.haradayuki.com/>

1989年、山口県生まれ。2016年に東京藝術大学大学院美術研究科修士課程先端芸術表現専攻修了、文化庁新進芸術家海外研修制度研修員として2017年にニュージャージー、2021年にハワイ滞在。2023年にTERRADA ART AWARD 2023でファイナリストに選出、神谷幸江賞を受賞。2024年に日本ハワイ移民資料館に初の現代美術コレクションとして《シャドーイング》が収蔵・常設化。とるにたらない視覚文化をモチーフに、テクノロジーやパフォーマンスを用いて、社会や個人の本性を「風景」や「自画像」のかたちで表現している。

主な個展に「夢と影」(ANOMALY、2025)、「原田裕規：ホーム・ポート」(広島市現代美術館、2024)、「公開制作vol.4 原田裕規 ドリームスケープ」(長野県立美術館、2024)、「原田裕規 個展 やっぱり世の中で一ばんえらいのが人間のようでございます」(日本ハワイ移民資料館、2023)、「アペルト14 原田裕規 Waiting for」(金沢21世紀美術館、2021)など。

主な刊行物に、作品集『原田裕規：ホーム・ポート』(フィルムアート社、2025)、単著『評伝クリスチャン・ラッセン』(中央公論新社、2023)、単著『とるにたらない美術』(ケンエブックス、2023)、編著『ラッセンとは何だったのか?』(フィルムアート社、2013、増補改訂版=2024)など。

ツバメ出版流通を通じて、すべての取次ルートに対応しています。

内容のお問い合わせ、イベントのご相談は、this and that (ディスアンドザット) 増田まで msdche@gmail.com <https://tat-pub.stores.jp/>▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX: 03-3721-1922** <http://tsubamebook.com> TEL:03-6715-6121 MAIL: info@tsubamebook.com

書店名 (番線印)

THIS
AND
THAT

this and that

<https://tat-pub.stores.jp/>

返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人

はらだ ゆうき
新刊 原田裕規

冊

『シャドーイング：影を追う旅』

ISBN978-4-9910062-6-5 C0070 B5判変型並製128ページ 本体3200円+税

ご担当： 様